

## 阿蘇神社(旧村社)

御祭神 健磐龍命(タケイワタツノミコト)

社報  
あそみや

平成11年1月1日  
第23号  
発行所  
阿蘇神社社務所  
多良見町化屋名862  
TEL 0957-43-5235

迎春

阿蘇神社

宮司 大島 大明

平成十一年の新春を迎える氏子崇敬者の御多幸を祈念申し上げます。とともに、本年も旧年同様の御支援と御高配を賜りますようお願い申し上げます。

正月は「お正月さま」という年神さまを迎える、いのちが生まれ変わることと云われます。古書によるところ、お盆と同様祖靈を迎えての魂(タマ)祭の時期とされ、お正月に欠くことの出来ない「お年玉」は祖靈から連綿として続く魂を丸餅

に込め主人が家族に渡したとあります。年神さまはトシ(稻の稔り)をもたらす穀靈もあり、或いはその年の恵方をつかさどる神でもあります。歳徳神とも云われます。

年の始めの例として

終りなき世のめでたさを祝う今日こそ樂しけれ

松竹立てて門ごとに平成十一年が氏子崇敬者皆様方に良き年でありますよう神前にお祈り申し上げます。

**敬神生活の綱領**  
神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、太平を開く基である。

神慮を畏み祖訓をつき、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。ここにこの綱領をかかげて、向かふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、神のみこともとして世をつくり固め成すこと  
一、大御心をいただきてむづび和らぎ、  
国の隆昌と世界の共存共栄とをいのこと

# 節分豆撒き行事

奉仕者募集中!!

阿蘇神社恒例の節分祭に豆撒きをされる歳男・歳女を募集しています。今年は辛卯(カノトノウ)、「ウサギ」年生まれの人なら男女は問いません。希望者は社務所まで連絡をお願いします。

十二年に一度しかない機会です。元気な「ウサギ」さん、お集まり下さい。

記

一、日時 二月三日  
豆撒きの時間

一回目 午後六時四十分  
二回目 午後七時三十分  
三回目 午後八時二十分

## 節分祭

◆平成十一年(卯年生)の年男・年女は次の通りです。  
大正四年、昭和二年、昭和十四年、昭和二十六年、昭和三十八年、昭和五十年、昭和六十二年

集合は右時間の四十分前となりますので、間違えないようご注意下さい。

### 一、参加資格

卯(うさぎ)年生まれの方なら  
男女は不問です

一、募集人員 二十二名  
袜の関係で一回七名です。親子  
・友達などと一緒に参加したい方はお早めに申し込み下さい。

### 一、参加料

袜に着替え神事を行いますので、立冬の前日を云いますが、現在では節分と云うと冬から春への変わり目(立春の前日)を指します。

本来節分とは立春、立夏、立秋、立冬の前日を云いますが、現在では節分と云うと冬から春への変わり目(立春の前日)を指します。

火焼神事は午後九時には終了しますので、午後八時三十分までにはご持参下さい。

◎神社よりのお願い

・危険防止のためガラスは自宅で外し、持ち込まないようお願いします。

・ビニール袋の使用は極力控え新聞紙、または紙袋でお納め下さい。

・陶器・真鍮などの不燃物、ビニールなど極力分類に努めています。

皆様方のご協力を願っています。

・「古神符納所」を神社前に仮設してありますので、お納め下さい。

後援・協賛により町内商社より寄贈された景品が当たる番号札が付

いています。  
多良見町の迎春行事と定着した阿蘇神社の節分祭には、町内外より多くの方が一年間の福を求めて参拝されます。

また、当日は商工会青年部・婦人部他の皆様により出店が多数並びます。ご家族ご近所お誘い合わせのうえご参拝いただき、「一年の福」をお持ち帰り下さい。

## 火焼神事 (ほやきしんじ)

旧年中に神社より受けた御神札・お守り・熊手・破魔矢・神棚などを焼き納める神事を火焼神事と云います。

火焼神事は午後九時には終了しますので、午後八時三十分までにはご持参下さい。

◎神社よりのお願い

・危険防止のためガラスは自宅で外し、持ち込まないようお願いします。

・ビニール袋の使用は極力控え新

聞紙、または紙袋でお納め下さい。

・陶器・真鍮などの不燃物、ビニ

ルなど極力分類に努めています。

皆様方のご協力を願っています。

・「古神符納所」を神社前に仮設してありますので、お納め下さい。

後援・協賛により町内商社より寄贈された景品が当たる番号札が付

## 例大祭懸なく斎行

平成十年の阿蘇神社例大祭が去る十月十五日に斎行されました。

併せて今上陛下の御即位十年を奉祝し、当日は奉祝記帳を受け付け、参拝記帳者全員に記念品が授与されました。

神前には神饌と共に神社本庁及び長崎県神社庁よりの幣帛料が献じられ、先ず宮司が国家安泰及び氏子尊敬の平安隆昌と今上陛下の弥栄を祈念する祝詞を奏上、次いで巫女による神樂舞が奉納されました。最後に宮司以下参列者が順次玉串奉籠を行いました。

例祭に際し以下の通り奉納を賜りました。御礼を申し上げます。

◎初穂料

慈恵病院・松本卓郎、北島守幸、有たらみ印刷、多良見町長・富永喜志雄、森正雄、溝上満前山弘、森開発・森強、清松正雄、喜々津農協組合長・小山好磨、原口史郎、白石勇、後田国光、山本等、村瀬満明、山田豊明、小川安夫、石丸隆男、阿蘇神社奉納相撲実行委員会・会長松尾義光、小山好磨、松尾龍義

◎献酒

諫早信用金庫多良見支店、原口博道、十八銀行多良見町支店以上

# 初詣は阿蘇神社へ 一年の計は元旦にあり

恙なく新年を迎えたことを感謝し、  
一年間の目標を神様にお願いいたしましょう。

◎初詣・節分祭などで神社にご参拝の方のために、イーグルパチンコ店の駐車場を借用いたしております。自動車でお越しの方はご利用下さい。



平成十一年算賀 年齢は数え年	
厄入り	男四十一歳 昭和三十四年生
厄払い	女三十三歳 昭和四十三年生
その他の厄年	男四十二歳 昭和三十三年生
	女三十四歳 昭和四十年生
還暦(男女とも)	男十五歳 昭和五十年生
	女十九歳 昭和五十六年生
六十一年	昭和十四年生
七五三祝い	十三歳 昭和六十二年生
七歳男	男女 平成九年生
女	平成七年生

## 平成十年新嘗祭終了

平成十年の新嘗祭(新穀感謝祭)が十一月二十三日の勤労感謝の日に斎行されました。新嘗祭は五穀豊穣を感謝し、農業を始め諸産業の更なる繁栄を祈る祭りです。

神前には神社庁西彼支部の献穀田(西海町)で収穫された初穂を始め各種神饌が供えられ、宮司が収穫を感謝する祝詞が奏上し、参列者が玉串を捧げ拝礼を行いました。

◇新嘗祭に際し以下の通り奉納を賜りました。御礼を申し上げます。  
祭典終了後社務所に会場を移し直会を行いました。

《敬称略》

◎初穂 西海町献穀田奉贊会  
◎白米 神社庁西彼支部  
神道青年会

喜々津農協組合長・小山好磨、松尾龍義、松本淳、多良見町長、藤瀬宏平、小山好磨、石丸隆男、森正雄、原口史郎、富永喜志雄、

㈱森開発・森強、吉田繁、山田

豊明、前山弘

喜々津農協組合長・小山好磨、松

◎献酒  
かこい組㈱池田忠徳、十八銀行多良見町支店  
以上

## 第7回 新年の運だめし Cross Word Puzzle

一年間の運だめしです。ハガキに①答え、②住所、③氏名、④電話番号を書いてお送り下さい。正解者に阿蘇神社特製置物「阿蘇鯨(大)」を1名、「阿蘇鯨(中)」を5名様(正解者多数の場合は抽選)に贈呈します。締め切りは2月3日必着。

送り先 〒859-0401 西彼杵郡多良見町化屋862 阿蘇神社パズル係

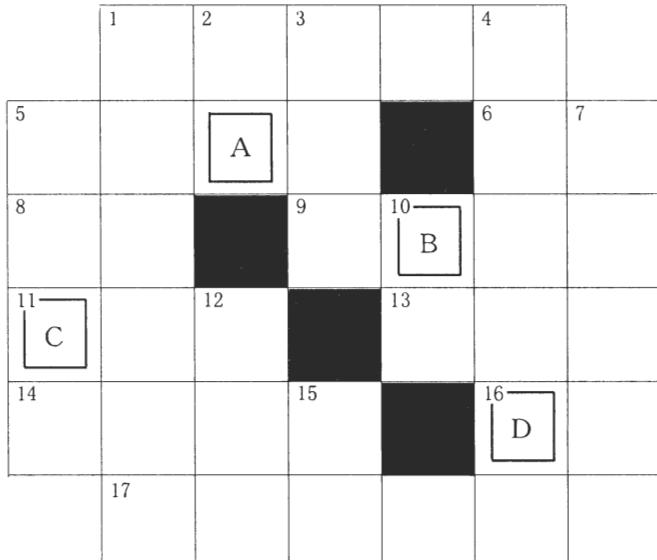
(正解者多数の場合、抽選は2月3日節分の第1回豆撒き終了後に行ないます。)

## 《タテのかぎ》

- 鉄棒競技の最後はこれで着地
- 男41才、女33才
- 追い払い、のけること
- 鳥居の近くにあります
- 行方不明
- 進んでいくこと
- 大きいだけで役に立たない
- いつまでも残る恨み
- 日の出る方に向かって、南の方

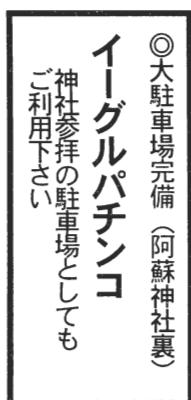
## 《ヨコのかぎ》

- 空から水面に降り立つこと
- 祝いの言葉
- 相撲の力士が行う
- ものごとにさばけた人
- 相手に判断を誤らせるために行動すること
- さまたげること
- 仲間
- 庭で木を多く植えているところ
- 意見、見解。麻雀用語は字が違う
- 森林経営



◎ A～Dの文字を並べかえて下さい。  
ヒント: 神棚にも仏壇にも必要です。

十二月三十一日	午後四時	大祓式	宮
氏子中より納められた大祓人	形は身代わりとして祓い清め	副	總代會長
られます	られます	同	司
一月一日 午前零時	午前零時より新年祈願祭を斎	同	代長
一月三日 午前八時	行、家内安全・商売繁盛・厄	同	年
二月三日 午後五時	入・厄払など隨時受付	同	新
二月三日	引き続き	監	賀
一月十一日 午前九時	豆撒き行事	同	年
都山流尺八愛好会により尺八	の奉納演奏が行われます	同	年
の奉納演奏が行われます	○祭典にはどなたでもご参列出来	同	年
ます。ご家族ご近所お説い合わせ	ます。ご参列下さい。	同	年
ます。その他境内の清掃奉仕を行つ	ます。ご参列下さい。	同	年
げます。ラブの皆様に御礼と感謝を申し上	ます。老人会、多良見ライオンズ	同	年
げます。	クラブ、諫早多良見ロータリーク	同	年
その他の皆様に御礼と感謝を申し上	その他の皆様に御礼と感謝を申し上	同	年
げます。	げます。	同	年



平成十年は長引く不況に加え、世界の汚職と無差別薬物事件など暗いニュースが続出、長野五輪や仏W杯などでの感動は何處へやら▼阿蘇神社に着任して十年が経過しました。今後とも宜しくお願ひいたします▼今年は年男(昭和二六年生)、ピョンピョン元気に飛び跳ねたいと思います▼暖冬とはいえ朝夕の冷え込みは厳しいようです。御自愛専一にお過ごし下さい。

## §編集後記§

監	宮
同	副
同	總代會長
同	司
同	代長
事	年
前小富高永相本松上本大	謹賀新年
山山永松門良多尾原鳴島	
林喜志幸信作実正国吉大	
弘栄雄男藏実美一雄松明	